会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では，3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，特集「マルウェア」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■過去に一度マルウェアに感染した経験があります．初歩的なものでしたが，かなり迷惑でした．今回の特集も，興味深く読ませていただきました．（匿名希望）

■マルウェアとして，最近，ボットなどが注目されており，観察日記や対策プロジェクトの取り組み状況などを時系列的に分かりやすく解説してあり参考になった．（匿名希望）

■マルウェアに関して，その行為自体が文化的もしくは社会経済の違いにより国によって必ずしも同じ捉え方をしているのかどうかが気になります．技術的な問題以上に解決できない問題など限界点について知っておきたいと感じました．（匿名希望）

■マルウェア特集について，興味深く読むことができました．どの記事もよくまとめられており，マルウェア対策として行われている研究への理解が深められたと思います．（匿名希望）

■「マルウェア観察日記（1）」は臨場感があり，とても面白かったです．技術内容に偏らない，このようなノンフィクション記事はとても参考になります．（徳山　豪）

■かつてほどパソコンを買う機会も減り，ウィルス対策もアプリを一度インストールしてしまえば，後はほとんどそのままで，それほどマルウェア対策を意識していなかったことを反省した．攻撃技術もプロ化・高度化していたのは聞いていたが，詳しくは知らなかった．改めて恐ろしさを感じた．（匿名希望）

■コンピュータ・ネットワークが普及し，今や，首相官邸や内閣官房といった政府の中枢においても，インターネットは不可欠のツールとなっている．マルウェアの被害がこうした政府の機関においても及んでいると側聞している．本特集で紹介された技術的な被害防止策のさらなる開発に加えて，今後は，「誰が」「どのような目的で」マルウェアを開発しているのかをも明らかにする必要がある．（水野光朗）

■マルウェア対策について大変に勉強になりました．今後のマルウェア対策に活かしたいと思います．（匿名希望）

■マルウェアについて最新の情報が得られて大変参考になった．一般のインターネット利用者の立場としては，専門家集団に対策を託すしかないように感じられたが，一般利用者にも何かできるのか（できるなら何をすべきか）についても指針が与えられるとなお良かったと思う．（匿名希望）

■マルウェアの特集を読んで，いろいろな取り組みが行われていることを知り安心する反面，それでもなくならない攻撃には，他の取り組みも考えていくべきではないかと思った．最終的には人のモラルの問題のような気もする．また，実際に攻撃を受けた事例とその対応方法が紹介されていたのは興味深かった．（匿名希望）

■「マルウェア観察日記」は緊迫感がありました．闇の世界が現実社会に存在することと同じように，ネットワーク社会にも闇の世界が存在し組織犯罪が成立している．技術の進歩は価値を生み出すが，その裏で闇の世界も生み出してしまう，私たちは恐ろしいものに携わっているんだと改めて感じました．（阿南佳之）

■マルウェア特集は多角的に解説されていて，現状を把握するのに大変参考になりました．（匿名希望）

■マルウェアという言葉は初めて知りました．情報処理技術の必須の知識となっていると思います．（巫　召鴻）

■マルウェアの特集に関しては具体的で生々しい記事もあり興味深く読ませていただいた．今後もセキュリティ関連は個人への影響の可能性も高く，無関心ではいられない．今後も取り上げていただきたいテーマと考える．（川上明浩）

■ウィルスというと一般に生物でのことを指すと思うが，インターネットでのウィルスは人間が作りだしたプログラムである．人間が作り出したウィルスに対して人間が対策を考えるのは何か無駄なことをしているように思う．対策に焦点を当てるだけでは不十分で，なぜウィルスを作るのかといった別の観点での解説があれば良かったと思います．（匿名希望）

■「4. マルウェアと戦う技術」（小松優介）の記事において「Web からの脅威」による攻撃に対する対策技術の知見を得ることができた．（匿名希望）

■臨場感あふれる文章でマルウェアの実態が紹介され，読み物としても大変面白い良い企画だったと思います．安全にインターネットを利用できるのはこのような戦い（活動）があってのことと再認識するとともに関係各位のご努力に感謝します．（匿名希望）

■マルウェアの実際をご紹介いただき，多少この方面にうとくなっていた折，大変参考になりました．（匿名希望）

■日頃いろいろな PC に対する脅威を聞いたり実際に自分が遭遇したりしながらも，それらを系統的に理解する機会がありませんでした.今回の特集はよく整理された解説と,マルウェアに対する実際の活動や対処技術がうまく組み合わされて紹介されており，非常に分かりやすく得るところの多かった特集だと思います．担当された方々に感謝します．（匿名希望）

■最近，有名企業の Web ページのウィルス感染が相次ぎ，セキュリティ意識が高まる中でちょうど良い特集記事であったなと思います．特に，私はセキュリティについては一般的な内容しか知らなかったのですが，現在は OS の自動更新やウィルス定義が更新される前に攻撃し感染拡大するというのを，特集とその他情報から興味深く読ませていただきました．今後，毎日 PC を使う身としてはより一層，自分でできる対策は早め早めにとっていこうと思います．（匿名希望）

■特集記事が，マルウェアに対するサービス提供がなされていることや，ボット対策など認識を新たにする内容が多く参考になった．また，マルウェア対策に多くの人が注力されている状況もよく理解できた．（阪本俊幸）

■マルウェアの高度化に関する特集は大変刺激的で参考になった．この分野に知識を持たない者にとっても分かりやすいように，丁寧に作られた特集であったと思う．ただ P244 で出てきた「ハニーポット」という言葉が，P286 で初めて解説されるなど，多少不親切な部分があった．（匿名希望）

事例「図書館経営における新しい情報技術の活用」につきましては，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■大変興味深く拝見いたしました．（匿名希望）

コラム「欧州駐在員便り　欧州における量子暗号通信標準化活動の紹介」につきましては，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■標準化活動の内容紹介が全体 3 ページのうち 1 ページ分しかなかった．もう少し，丁寧にページを割いて紹介していただきたかった．（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■電子政府推奨暗号リストを策定している CRYPTREC の活動について紹介してほしい．（匿名希望）

■機械学習の最新技術動向の特集・解説記事を希望します．（匿名希望）

■ソフトウェア開発におけるプロジェクトマネジメントについて取り上げてほしい．（匿名希望）

【本欄担当　柳井啓司，横山昌平／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html> に掲載していますので，そちらもご参照ください．会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，

・記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言

・その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言

など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．

なお，「道しるべ」については

<**URL : http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html**> で

これからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．

※ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．

<**URL : http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html**>

応募先　〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
情報処理学会　会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax（03）3518-8375
https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2010年				
	論文誌「マルチメディア，分散，協調とモバイルシステム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-T.html	5月21日（金）		
	論文誌「多様な価値を創出する情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-V.html	5月24日（月）		
	論文誌「分散処理とネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-W.html	5月31日（月）		
	論文誌「仮想化時代のインターネットと運用技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-R.html	6月7日（月）		
	論文誌「インタラクションの基盤技術，デザインおよび応用」特集，「インタラクションの基盤技術，デザインおよび応用（テクニカルノート）」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-PQ.html	6月21日（月）		
6月14日（月）～ 6月15日（火）	第79回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO79.html	4月14日（水）	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
6月14日（月）～ 6月16日（水）	International Workshop on OpenMP 2010（IWOMP2010） http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/workshop/IWOMP2010/			つくば国際会議場
6月17日（木）	第125回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC125.html	4月16日（金）	当日のみ	東京大学 理学部7号館
6月18日（金）	第41回 高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ITS41.html	4月20日（火）	当日のみ	首都大学東京　秋葉原サテライトキャンパス
6月18日（金）～ 6月19日（土）	第21回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/BIO21.html	4月16日（金）	当日のみ	琉球大学50周年記念館
6月25日（金）	第24回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GI24.html	4月30日（金）	当日のみ	奈良女子大学理学部会議室
6月28日（月）	連続セミナー 2010第1回「グローバルなクラウド標準化動向と国際協調」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
7月1日（木）～ 7月2日（金）	第50回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CSEC50.html	5月10日（月）	当日のみ	弘前大学
7月7日（水）～ 7月9日（金）	マルチメディア，分散，協調とモバイル（DICOMO2010）シンポジウム http://www.dicomo.org/2010/	3月12日（金）	6月18日（金）	下呂温泉　水明館
7月10日（土）	第105回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE105.html	5月24日（月）	当日のみ	大阪電気通信大学
7月15日（木）～ 7月16日（金）	第69回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ams.giti.waseda.ac.jp/avm/society69.html	5月12日（水）	当日のみ	北海道大学 工学部
7月15日（木）～ 7月16日（金）	第27回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.mkg.sfc.keio.ac.jp/UBI/seminar-27.html	5月14日（金）	当日のみ	筑波大学
7月16日（金）	第10回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOT10.html	5月10日（月）	当日のみ	東京海洋大学 品川キャンパス
7月16日（金）	第139回グラフィクスとCAD研究発表会 http://ipsj-gcad.sakura.ne.jp/index.php?CFP139	5月23日（日）	当日のみ	名城大学名駅サテライト（MSAT）
7月19日（月）～ 7月23日（金）	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/	1月31日（日）		韓国　ソウル
7月22日（木）～ 7月23日（金）	第76回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD76.html	5月21日（金）	当日のみ	岩手県立大学　アイーナキャンパス
7月22日（木）～ 7月23日（金）	第169回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE169.html	6月6日（日）	当日のみ	北九州テレワークセンター
7月26日（月）	連続セミナー 2010第2回「Webスケールとインターネットクラウド」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
7月28日（水）～ 7月30日（金）	第86回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS86.html	6月4日（金）	6月28日（月） 当日のみ	つくばグランドホテル
7月30日（金）～ 7月31日（土）	第139回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/2010/07/201007300946.html	5月28日（金）	当日のみ	小浜温泉伊勢屋旅館
8月3日（火）～ 8月5日（木）	2010年並列／分散／協調処理に関する『金沢』サマー・ワークショップ（SWoPP金沢2010） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SWoPP2010.html	4月23日（金）	当日のみ	金沢市文化ホール
8月4日（水）	第150回データベースシステム・第99回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DBS150IFAT99.html	6月14日（月）	当日のみ	青山学院大学
8月18日（水）～ 8月20日（金）	情報教育シンポジウム2010 http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2010	5月16日（日）	定員になり次第	群馬県渋川市伊香保（雨情の湯 森秋）
8月23日（月）～ 8月24日（火）	第17回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EC17.html	6月25日（金）	当日のみ	香川大学
8月26日（木）～ 8月27日（金）	平成22年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月11日（金）		八戸工業大学
8月30日（月）～ 8月31日（火）	平成22年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2010/index.html	6月28日（月）		中部大学春日井キャンパス
8月30日（月）～ 9月1日（水）	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2010（SES2010） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html	4月30日（金）		東洋大学 白山キャンパス

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月2日（木）～ 9月3日（金）	DAシンポジウム2010 －システムLSI設計技術とDA－ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html	5月7日（金）		ホテル日航豊橋
9月2日（木）～ 9月3日（金）	第55回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ishilab.net/mbl/program/2010/55.html	7月5日（月）	当日のみ	群馬大学（桐生キャンパス）
9月5日（日）～ 9月6日（月）	第173回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM173.html	6月14日（月）	当日のみ	福岡大学
9月7日（火）～ 9月9日（木）	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			九州大学伊都キャンパス
9月10日（金）	連続セミナー2010第3回「企業向けクラウドサービスのビジネスインパクト」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
9月13日（月）～ 9月14日（火）	第113回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/		当日のみ	静岡産業大学　磐田駅前学舎（静岡）
9月25日（土）～ 9月26日（日）	平成22年度第63回電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月20日（火）	聴講事前申込期間 ：6月21日～8月19日	九州産業大学
10月2日（土）	第106回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE106.html	8月16日（月）	当日のみ	秋田大学
10月19日（火）	連続セミナー2010第4回「クラウドコンピューティング技術の肝（要素技術）」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
10月27日（水）～ 10月29日（金）	組込みシステムシンポジウム（ESS2010） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-ESS2010.html	6月17日（木）		国立オリンピック記念青少年総合センター
11月8日（月）	連続セミナー2010第5回「電子行政・社会基盤サービスを担うセキュアクラウド」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
11月20日（土）～ 11月21日（日）	第107回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html	10月4日（月）	当日のみ	香川大学
11月22日（月）～ 11月24日（水）	IWSEC2010 International Workshop on Security http://www.iwsec.org/2010/			神戸国際会議場
12月1日（水）	第114回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/		当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
12月6日（月）	連続セミナー2010第6回「次世代クラウドコンピューティングに向けて」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
2011年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日（月）		
2月5日（土）～ 2月6日（日）	第108回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html	12月17日（金）	当日のみ	東京農工大学
3月2日（水）～ 3月4日（金）	第73回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月17日（木）～ 3月18日（金）	第115回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/		当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月19日（土）～ 3月20日（日）	第109回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html	1月31日（月）	当日のみ	神戸大学
3月23日（水）～ 3月25日（金）	The 10th International Symposium on　Autonomous Decentralized Systems（ISADS2011） http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			東京サピアタワー
2012年				
11月11日（日）～ 11月15日（木）	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

Webページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

■4月30日　26学会（41万人会員）会長声明「科学・技術による力強い日本の構築－我が国の科学・技術の進むべき方向と必要な政策－」

■4月27日　平成22年度通常総会のご案内

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail，Faxまたは郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します．

掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　21,000円（税込）
賛助会員（企業）　31,500円（〃）
賛助会員以外の企業　52,500円（〃）
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます．

申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■筑波大学大学院システム情報工学研究科

募集人員　助教　1名（期間5年間のテニュアトラック）
所　　属　コンピュータサイエンス専攻
専門分野　実践的IT人材育成にかかわる情報工学・情報科学のいずれかの専門分野
担当科目　「高度IT人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」を含む大学院（コンピュータサイエンス専攻）と学類（学部に相当．情報科学類または情報メディア創成学類）における教育，ならびに専門分野における研究
応募資格　博士の学位（着任時期までに取得見込みも可）もしくはそれと同等水準の実務経験を有し，専門分野において研究業績があり，PBLを含む実践的IT教育を担当できる方（実社会におけるシステム開発経験またはPBL等の実践的IT教育担当の経験を有することが望ましい）
着任時期　決定後できるだけ早い時期
提出書類　履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記），専門分野を表すキーワード3～5個，教育・研究等の実績（実社会におけるシステム開発経験，PBL等の実践的IT教育を担当した経験がある場合はその内容を明記，1500字程度），研究業績リスト（学術論文，国際会議論文，著書，解説，その他の研究発表，特許，受賞等に分類したリスト．共著者名はすべて記入），主要論文別刷（5編以内，コピー可），教育・研究に対する抱負と自己アピール（1500字程度），意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切　平成22年7月6日（必着）
送付先／照会先　〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1　筑波大学大学院システム情報工学研究科　コンピュータサイエンス専攻長
北川博之　E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp　Tel(029)853-5522
そ の 他　詳細はWebページ（http://www.cs.tsukuba.ac.jp/information/koubo-201005A.pdf）をご覧ください

■筑波大学大学院システム情報工学研究科

募集人員　准教授または助教　2名
所　　属　コンピュータサイエンス専攻
専門分野　大規模情報コンテンツの利活用にかかわる情報工学・情報科学のいずれかの専門分野
担当科目　コンピュータサイエンス専攻では，大規模情報コンテンツを扱うための情報通信技術分野における創造的高度ICT人材育成のため，「大規模情報コンテンツ時代の高度ICT専門職業人育成」事業（平成22～24年度）を推進している．同事業に係る教育，研究，ならびに事業推進業務を担当
応募資格　博士の学位（着任時期までに取得見込みも可）を有し，専門分野において研究業績があり，上記職務を担当できる方
着任時期　決定後できるだけ早い時期
提出書類　履歴書（連絡先とE-mailを明記），専門分野を表すキーワード3～5個，教育・研究等の実績（実社会におけるシステム開発経験，PBL等の実践的IT教育を担当した経験がある場合はその内容を明記，1500字程度），研究業績リスト（学術論文，国際会議論文，著書，解説，その他の研究発表，特許，受賞等に分類したリスト．共著者名はすべて記入），主要論文別刷（5編以内，コピー可），教育・研究に対する抱負と自己アピール（1500字程度），意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切　平成22年7月6日（必着）
送付先／照会先　〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1　筑波大学大学院システム情報工学研究科　コンピュータサイエンス専攻長
北川博之　E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp　Tel(029)853-5522
そ の 他　【任期】平成25年3月31日
詳細はWebページ（http://www.cs.tsukuba.ac.jp/information/koubo-201005B.pdf）をご覧ください

■大阪工業大学情報科学部

募集人員　各分野　1名（(1)（2)は准教授，(3)は教授）
専門分野　(1)情報分野（コンピュータハードウェア）　(2)音声，音響，デジタルサウンド　(3)情報基盤システム
＊職階および授業担当（学部・大学院）については，本学Webページをご参照ください
応募資格　博士の学位を有する方
着任時期　平成23年4月1日
提出書類　(1)履歴書（本学所定の様式による）　(2)業績書（本学所定の様式による）　(3)主要論文別刷（3編以内　コピー可）　(4)レポート（1000字以内，A4用紙1枚，様式任意．テーマは下記のいずれかを選択してください）
・「教育を充実させるため実践してきた具体的事項」
・「就任後の教育に対する抱負」
※履歴書および業績書については，本学所定の様式以外のものは受け付けできません．なお，(1)（2)については本学のWebページから様式をダウンロードできます
応募締切　平成22年7月23日（必着）
照 会 先　〒573-0196 大阪府枚方市北山1-79-1 大阪工業大学情報科学部事務室　E-mail:jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp　Tel(072)866-5301　Fax(072)866-8302
そ の 他　提出書類・応募方法および個人情報の取扱いなどの詳細については，必ず本学Webページ（http://www.oit.ac.jp/）で確認してください

■大阪工業大学工学部電子情報通信工学科

募集人員　特任教授または特任准教授　1名（任期は最長5年，更新の可能性あり）
専門分野　情報・システム（音響・映像）
応募資格　博士の学位を有し，教育に熱意のある方．さらに，産学連携を含む，対外的な情報発信が活発な方が望ましい
着任時期　平成23年4月1日
応募締切　平成22年7月23日（必着）
照 会 先　工学部電子情報通信工学科　原嶋勝美　E-mail:harashima@elc.oit.ac.jp　Tel(06)6954-4305
そ の 他　詳細はWebページ（http://www.oit.ac.jp/japanese/saiyo/top_main2011.html）をご覧ください

■名古屋大学大学院情報科学研究科

募集人員　助教　1名
所　　属　計算機数理科学専攻計算論講座
専門分野　計算機科学（アルゴリズム論，組合せ最適化）
担当科目　大学院情報科学研究科，工学部電気電子・情報工学科における計算機科学関連科目演習および学生実験
応募資格　（着任時に）博士の学位を有する方
着任時期　平成22年10月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切　平成22年7月30日（必着）
照 会 先　情報科学研究科　計算機数理科学専攻　平田富夫　E-mail:hirata@is.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-2725
そ の 他　詳細は情報科学研究科Webページ（http://www.is.nagoya-u.ac.jp/index.html）の「教員の公募」をご覧ください．選考の過程で講演をお願いすることがあります

■名古屋大学大学院情報科学研究科

募集人員　教授　1名
所　　属　複雑系科学専攻多自由度システム情報論講座
専門分野　複雑系の科学．広い意味での数理物理・統計物理・量子情報・計算科学等のアプローチにより，複雑系科学の新分野を開拓していただける方
担当科目　情報科学研究科複雑系科学専攻，情報文化学部，全学教育の授業，および学生の指導
応募資格　博士の学位を有し，自然・社会におけるさまざまな複雑系の現象に対して，広い視野から数理的手法で研究・教育が行える方
着任時期　平成22年11月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類　履歴書，業績リスト（a.著書，b.査読付き原著論文，c.その他の論文，総説，解説等，d.招待講演（国内外を問わない），e.競争的外部資金獲得，f.学会および社会活動，g.特記すべき事項，に分ける），主要論文別刷（5編以内，コピー可），これまでの代表的な研究の概要（A4用紙2枚．図表を含んでもよい），今後の研究計画（A4用紙2枚．目的とする研究に関して，複雑系科学としての重要性，同分野の発展に果たす役割などの研究意義を分かりやすく書くこと），教育に関する抱負（A4用紙1枚），照会が可能な2名の方の所属・連絡先（E-mailアドレス，電話等）
応募締切　平成22年7月30日（必着）
送付先／照会先　〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町A4-2 (780)　名古屋大学大学院情報科学研究科　複雑系科学専攻長　古賀伸明
E-mail:koga@is.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-3518　「教員公募関係」と朱書し書留
そ の 他　提出書類は本選考にのみ使用し，他の目的には使用しません．選考の過程で講演をお願いすることがあります．研究科の詳細はWebページ（http://www.is.nagoya-u.ac.jp/）をご覧ください．本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております

■福井大学大学院工学研究科

募集人員　准教授，講師，または助教（助教は任期5年）　1名
所　　属　情報・メディア工学専攻の計算機・通信講座に所属し，工学部情報・メディア工学科の教員としての職務を兼務
専門分野　ソフトウェア工学，組込みシステム，コンピュータネットワーク，知識システム，あるいはこれらの周辺分野
応募資格　博士の学位を有すること（助教に応募する場合には着任時期までに取得見込みの方でも可），上記いずれかの専門分野において研究業績があること，情報・メディア工学に関する教育・研究に熱心な方（専門教育，基礎教育，学生実験・演習，補習授業などを担当）
着任時期　平成22年11月1日以降のなるべく早い時期
提出書類　履歴書（着任可能時期と連絡先を記載のこと），研究業績リスト（学術雑誌論文，国際会議論文，その他の論文，ならびに取得済み特許等のカテゴリ別に分類し，著者名，題名，論文誌名，巻・号・頁，発行年等を記載のこと．論文については査読の有無を明記のこと），主要論文別刷（准教授で応募の場合8編，講師で応募の場合5編，助教で応募の場合3編），これまでの研究の概要・今後の研究計画・および教育に関する抱負（いずれもA4用紙2枚以内），応募者に関し意見を伺える方2名の氏名・所属／役職・連絡先（住所，電話番号，E-mailアドレス）
応募締切　平成22年7月30日（必着）（適任者があれば，締切日より早く選考を開始することがあるので，できるだけ早い応募が望ましい）
送付先／照会先　〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1　福井大学大学院工学研究科情報・メディア工学専攻　専攻長　山田徳史
E-mail:yamada@u-fukui.ac.jp　Tel(0776)27-8909　「情報・メディア工学専攻教員人事公募」と朱書し書留
そ の 他　最終候補者には本学において模擬授業をしていただき，その結果を採用の評価に加えます

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員　教授　1名
所　　属　高性能計算システム研究部門
専門分野　高性能計算システム
職務内容　◎研究について
計算科学諸問題に対応する高性能計算システム研究開発を行う．具体的には，マルチコアプロセッサ／アクセラレータ（GPGPU, FPGA等）等の各種先進的プロセッサを用いた大規模並列システムの研究開発と，それに基づく計算科学諸分野との共同研究を行う．また，各種計算科学応用問題の高性能プログラミング，高性能計算システムソフトウェアに関する研究も併せて行うのが望ましい．また，本センターの応用分野研究者と連携し，共同研究を行う
◎教育について
本学情報学群情報科学類および本学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における教育研究を行う
応募資格　博士の学位を有する方
着任時期　決定後できるだけ早い時期
提出書類　履歴書，業績リスト（論文は査読付きとその他を区別），主要論文別刷（5編以内，各1部），これまでの研究の概要（2000字程度），研究・教育の計画および抱負（2000字程度），本人についての意見を求め得る方2名の氏名および連絡先
応募締切　平成22年8月6日（必着）
送 付 先　〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1　筑波大学計算科学研究センター　センター長　佐藤三久
「高性能計算システム人事応募書類在中」と朱書し簡易書留または宅配便
照 会 先　高性能計算システム研究部門　主任　朴　泰祐　E-mail:taisuke@cs.tsukuba.ac.jp
そ の 他　【任期】着任後5年間．それ以降は本センターの方針に基づき再任の可否を決定する

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

募集人員　教授または准教授　1名
専門分野　情報科学・工学分野
担当科目　当学科科目を構成する3領域（ソフトウェア，メカトロニクス，ヒューマンファクタ）のうち，ソフトウェア領域（例：情報セキュリティ，数理モデル解析法，パターン認識など）の講義科目およびプログラミングを中心とする実験実習科目
着任時期　平成23年4月1日
応募資格　博士の学位を有し，大学院・学部の学生に対する教育・研究指導に十分な能力と熱意のある方．専門分野について優れた業績を有すること．キリスト教について十分な理解があること．相模原キャンパスが勤務地ですが青山キャンパスの授業も担当可能な方
応募書類　履歴書（市販用紙使用，連絡先にE-mailアドレスを含めること），研究業績リスト（著書，学会誌掲載の査読のある研究論文，学会誌掲載の解説論文，国際会議論文，口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと，また外部資金獲得状況も含むこと），主要論文別刷（5編以内，コピー可），これまでの研究の概要（A4用紙2枚程度），今後の研究計画（A4用紙2枚程度），教育に対する抱負（A4用紙2枚程度），本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先
応募締切　平成22年8月31日（必着）
送付先／照会先　〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1　青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科　主任　原田　実
E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp　Tel(042)759-6321　Fax(042)759-6495
「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書し簡易書留　＊応募書類は返却いたしません
そ の 他　書類選考の結果により面接（9月18日（土），19日（日），20日（月）などを予定）を実施します．面接へ進まれる方への連絡はメールで行います．公募されるポストは常勤で教授の場合定年は68歳です．なお，本公募は，男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の研究者による応募および国際化の観点から外国人による応募を歓迎します．また，研究室には助教または助手1名が所属します．研究室の広さは約168m^{2}です

■株式会社なうデータ研究所

募集人員　正社員（技術職）　1名
募集職種　【技術職】ルールベース技術を用いたシステム開発（オープン系），システムコンサルティング，言語処理系等開発
応募資格　博士の学位を有する方またはそれに相当する能力を有する方
着任時期　決定後できるだけ早い時期
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主な研究の概要（A4用紙1～2枚），パワーポイントによる自己PR，応募者の照会が可能な方2名の氏名と連絡先，本人の連絡先（E-mailアドレス，電話番号）
応募締切　平成22年8月31日（順次選考）
送付先／照会先　〒820-0067 福岡県飯塚市川津680-41　福岡県立飯塚研究開発センター 204号　（株）なうデータ研究所　総務・管理部
齊藤由美　E-mail:entry@nau.co.jp　Tel(0948)26-2350，Fax(0948)26-1668　「応募書類在中」と朱書し書留（簡易可）

■鳥取大学大学院工学研究科

募集人員　准教授または講師　1名
所　　属　情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
専門分野　計算機工学に関する分野
担当科目　（大学院）情報ネットワーク等に関する科目
（学部）情報ネットワーク，計算機構成論，データベースと情報検索等の知能情報工学科の開設科目
応募資格　博士の学位を有する方，専門分野に関する十分な研究業績を持ち，教育，研究および専攻運営に熱意があり，大学院博士後期課程を担当できる方
着任時期　平成22年12月1日以降のなるべく早い時期
提出書類　履歴書（様式1），教育歴（様式2），研究歴（様式3），その他の活動歴（様式4），着任後の抱負（様式5），研究業績リスト（様式6），所見を伺える方2名の照会先または推薦状（2通）（様式7），主要査読付き学術論文別刷（5編程度，コピー可）
※詳細については，必ず鳥取大学Webページ（http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html）を参照してください
応募締切　平成22年8月31日（必着）
送付先／照会先　〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101　鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻
知能情報工学コース長　松村幸輝　E-mail:matumura@ike.tottori-u.ac.jp　Tel(0857)31-5227　Fax(0857)31-0879
「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留または宅配便
そ の 他　【選考方法】専攻内選考（1次：書類審査，2次：面接）および研究科内選考

■名古屋大学大学院情報科学研究科

募集人員　教授　1名
所　　属　情報システム学専攻
専門分野　情報システムのプラットフォーム（計算機アーキテクチャ，オペレーティングシステム，ミドルウェア，データベース，コンパイラ，システムLSI設計技術，計算機ネットワークなど）に関する理論と技術
応募資格　博士の学位を有する方
着任時期　平成23年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト（著書，学術論文誌，国際会議などを区分して記述），主要論文別刷（3編以内，コピー可），これまでの研究概要（A4用紙2枚以内），今後の研究計画（A4用紙1枚内），教育についての抱負（A4用紙1枚以内），その他選考に役立つ情報（教育実績，学会および社会活動，獲得した外部資金，受賞，特許，ソフトウェア開発実績など），応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切　平成22年年8月31日（必着）
送付先／照会先　〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町C3-1(631)　名古屋大学大学院情報科学研究科　情報システム学専攻長　坂部俊樹
E-mail:sakabe@is.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-3621
そ の 他　詳細はWebページ（http://www.is.nagoya-u.ac.jp/）をご覧ください

■東京大学情報基盤センター

募集人員　助教　1名（任期：5年．再任については1回限りで，任期は3年．審査あり）
所　　属　ネットワーク研究部門
専門分野　ネットワークの高機能化・高度化と情報セキュリティにかかわる研究．情報セキュリティの確保と向上を含む，キャンパスネットワークの構築と運用・管理，およびネットワーク関連情報システムの構築と運用・管理等
応募資格　博士学位を取得済みであること，あるいは着任時までに取得見込みがあること
着任時期　決定後なるべく早い時期（遅くとも平成23年4月1日）
提出書類　履歴書，実務歴説明書（A4用紙2～3枚程度とし，詳しく具体的に記述すること），研究歴と研究業績リスト（主要論文別刷を添付），応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先，本センターに応募する理由と抱負（A4用紙1枚程度とし，着任可能時期を含めること）
応募締切　平成22年年9月1日（必着）
送付先／照会先　〒113-8658 東京都文京区弥生2-11-16　東京大学情報基盤センター総務係　E-mail:soumu-boshu@itc.u-tokyo.ac.jp
Tel(03)5841-2710　「ネットワーク研究部門応募書類在中」と朱書し親展　＊提出書類は返却しません
そ の 他　面接を行うことがあります

FIT2010 第 9 回情報科学技術フォーラム
聴講参加事前予約並びに講演論文集販売の御案内

FIT2010Web サイト：http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT（Forum on Information Technology）を開催しており、2010年9月には第9回目を九州大学 伊都キャンパスで開催致します。

つきましては、聴講参加事前予約並びに講演論文集、DVD-ROM販売の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行いますが、残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会　期：2010年9月7日（火）～9日（木）
会　場：九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）
交　通：
博多駅より西鉄バス55分「九大工学部前」で下車、もしくは、博多駅より地下鉄30分「九大学研都市駅」で下車し、昭和バス13分「九大工学部前」で下車
※お車での御来場は御遠慮下さい。
アクセスhttp://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html

■開催イベント企画［予定］

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。（詳細は逐次FIT2010Webサイトに掲載致します）

・船井業績賞特別講演
8日14:30-15:45　第1イベント会場（総合学習プラザ２F　工学部　大講義室）
「重力に抗して：タンジブルビット」
石井　裕（マサチューセッツ工科大）

・FIT学術賞表彰式
8日13:30-14:20　第1イベント会場（総合学習プラザ２F　工学部　大講義室）

［企画］

第1イベント会場（総合学習プラザ２F　工学部　大講義室）
7日13:30-15:30 サイバーワールドとリアルワールドとの接点-社会に”入り込む”デジタルメディアの展開-
7日16:00-18:00 １＋１＞３を目指そう：次世代を担う若い情報・システム研究開発者とベテラン研究者の議論が新たな道を切り拓く
8日10:00-12:30 マルウェア対策の実態～Gumblarの事例に見る最新対策技術
9日10:00-12:30 IPv6移行時におけるセキュリティ対策の展望～予測不能なサイバー攻撃に備えるためには
9日13:30-16:30 IPv4アドレス在庫枯渇カウントダウン～その現状と対処方策～

第2イベント会場（西講義棟2F 工学部　第1講義室）
7日13:30-18:00 第14回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
8日10:00-12:30 ポスト情報爆発へ向けて － 次に「爆発」するのは何だろう？
8日16:00-18:00 （仮）仮想社会と電子書籍～GoogleブックスV.S.図書館界～

第3イベント会場（西講義棟3F 工学部　第3講義室）
7日13:30-15:30 サービスコンピューティングへのアプローチ
7日16:00-18:00 学際テーマの研究推進にむけて～学際テーマを研究することの楽しさと難しさ
8日10:00-12:30 「ScienceとEngineering をつなぐ『Art』を求めて」ERATO湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム
9日10:00-12:30 組合せパズルの数理とコンピュテーション
9日13:30-16:30 見えてきた？ライフログ活用サービスのビジネス化とコア技術

■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約(7/9まで)	当日
会　員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROMが含まれております。
※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。
会員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK、KICS、KIISE、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）の個人会員に限ります。
非会員：上記の学会会員以外の方。
学生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。
社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■懇親会

開催日時：9月8日（木）18：00を予定
会　　場：九州大学伊都キャンパス
参加費（税込）：社会人　5,000円、学生　2,000円
※すべて当日の受付（支払い）となります。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円／冊	15,000円／冊
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※セットは冊子講演論文集、DVD-ROM、カバー付き
※分冊は第1～4分冊の予定
※DVD-ROMはプログラム（講演者索引付き）及び全分冊収録
※学生の方は，会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

■講演論文集の掲載分野（分冊構成）［予定］

第１分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
第２分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
第３分冊：画像認識・メディア理解 、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション 、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
第４分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
・DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録
（著者、所属、キーワードによる索引付き）
※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■聴講参加事前予約・講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法

申込締切：2010年7月9日（金）必着
申込方法：FIT2010Webサイトからお申込み下さい。
聴講参加事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申し込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総受付に御呈示下さい。
受取方法：講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送（10月上旬）」のいずれかを選択して下さい。DVD-ROM（講演論文集セット付属のものは除く）は、すべて事前発送となります。
送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。
送金は以下のいずれかの方法でお願い致します。
(1)郵便振替で送金の場合：申込締切後にお送りします郵便振替用紙を御利用の上お振込み下さい。
(2)銀行振込みで送金の場合：振込人名を「FIT2010-請求書番号-氏名」として以下のいずれかの口座へお振込み下さい。
・三菱東京UFJ銀行 本店　普通預金 7657224
口座名義：社団法人電子情報通信学会
※振込みが完了されましたら、同封の「送金連絡票」に振込み情報を御記入の上、以下の申込先へFAXにてお送り下さい。
同封の郵便振込用紙でお振込みの場合にはFAX返信は不要です。
※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんので御了承下さい。すべて振込みでお願い致します。
送金期日：2010年10月29日（金）まで

■次年度のFIT2011開催

2011年9月 函館大学にて開催予定

■問合先

〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館内
社団法人電子情報通信学会　集会事業部FIT担当
Tel. 03-3433-6691　Fax. 03-3433-6659
e-mail：ieicefit@ieice.org

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページまたは1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	52,500円
			1/2ページ	31,500円
			1/4ページ	21,000円
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公私立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	国公私立教育機関，国公立研究機関	21,000円
			賛助会員（企業）	31,500円
			賛助会員以外の企業	52,500円
	＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます．			

■申込方法　任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

■原稿の書き方

●行事次第書：　A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします．
（1ページ）　天地260mm × 左右175mm
（1/2ページ）天地130mm × 左右175mm
（1/4ページ）天地　65mm × 左右175mm
＊ A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．

●人材募集：　次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください．
［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］
＊なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

■申込期限　毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します．

■掲載料金　掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください．

■掲載申込先　（社）情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel (03) 3518-8371　Fax (03) 3518-8375

おふいすらん

今月号より編集長が川合慧先生から中島秀之先生に交代となりました．川合先生におかれましては，4年間にわたり編集会議をとりまとめていただき，またすべての記事に目を通していただきました．本当にありがとうございました．

本会誌，編集長の交代というタイミングもあり，今月から体裁を少しだけ変えています．本文記事の字（フォントのサイズ）が以前より大きくなりました．いかがでしょうか．ほかにもより読みやすくするためこうしてほしい，などのご意見がありましたら会誌編集部門：editj@ipsj.or.jp 宛にお送りいただけると幸いです．

さてさて私は今編集や校正，著者の誤植にまつわるコラムを集めた「誤植読本」（高橋輝次編，東京書籍）という本を読んでいるのですが，この内容がなかなか身につまされます．タイトル，名前を間違える／本文にばかり気を配って扉や柱，奥付の大きな誤りを見逃す／校正者に知識がないばかりに誤った校正をされる……などなど．苦い記憶が思い出されます．つい笑ってしまうような誤植も紹介されていますが，出した方としては本当に冷や汗もの．編集または校正者にかなり共感してしまいました．ちなみに自分の担当している本の誤植は見逃すくせに他人の本だとやけに見つけてしまう，というのもかなり「あるある」．これは一体なぜでしょう．仕事でなくなると俄然楽しくなるというたぐいのものでしょうか……．このあたりの脳の仕組みをどなたか解明してほしいと思う今日このごろです．本の中で一番印象に残ったのは，「縁の下の労力をきちんとしてくれる校正者にゆきあたると，その出版社編集部への信頼がまし，つぎに原稿をたのまれても心よくひきうけることになる」との山田宗睦さんの言葉．縁の下の力持ち．そうなれるといいなとは思いつつ，道は遠い….

ところでこの本，持ち歩いて空いた時間に読んでいたのですが，一度印刷会社の校正室に置き忘れてしまうというポカをやらかしました．アッと気づいてあわてて印刷会社に連絡したところ，印刷会社の方がきちんと保管してくれていて，翌日届けてくださいました．印刷屋さんに誤植読本を置き忘れるとはなんというオチ．誤植もそうですが，まず日常からこういううっかりをなんとかしたいものです．

（綿谷亜樹／会誌編集部門）

論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.51 No.6（June 2010）

【一般論文】

■ブロックのレアリティを考慮した効率的な P2P ファイル共有手法 * 松本　敬 他

■直線状無線マルチホップネットワークにおける指向性アンテナを用いた高スループット化方式 松本直文 他

■ Design of Adaptive Communication Mechanism for Ubiquitous Multiagent Systems* Taishi Ito 他

■暗号モジュールの電力差分解析耐性評価における電力モデル等の決定方法 高橋芳夫 他

■ゼミコンテンツの再利用に基づく研究活動支援 土田貴裕 他

*：推薦論文　Recommended Paper

†：テクニカルノート　Technical Note

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部）　※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事　業／国　際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナ，プログラミング・シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会
■ 管理部門			
総　務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図　書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【7 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　（社）情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5106.html　Fax(03)3518-8375　E-mail:editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）
※ ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

［コード］

〔1〕ご氏名

〔2〕ご所属　　Tel.（　　）　　-

〔3〕E-mail:

〔4〕業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関　（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生　（f）その他 …… 4- [　]

〔5〕職種：（a）研究職　（b）開発・設計　（c）システムエンジニア　（d）営業　（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職　（g）教官／教員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生　（j）その他…… 5- [　]

〔6〕年齢：（a）10 代　（b）20 代　（c）30 代　（d）40 代　（e）50 代　（f）60 代以上 …… 6- [　]

〔7〕性別：（a）男性　（b）女性 …… 7- [　]

〔8〕あなたはモニタですか？：（a）はい　（b）いいえ …… 8- [　]

〔9〕あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望　（c）掲載を希望しない …… 9- [　]

〔10〕今月号（2010 年 6 月号）の記事はお役に立ちましたか．下記の記事すべてについて評価をご回答ください．
［ a …大変参考になった　b …よい　c…普通，どちらとも言えない　d …悪い　e…読んでいない ］

新しい編集委員長として思っていること…… 10-1- [　]
特集：新しい○○情報学
1. 農業情報学 …… 10-2- [　]
2. 観光情報学 …… 10-3- [　]
3. 災害情報学 …… 10-4- [　]
4. フィールド情報学 …… 10-5- [　]
5. 音楽情報学 …… 10-6- [　]
6. 健康情報学 …… 10-7- [　]
7. 人間情報学 …… 10-8- [　]
8. エンタテインメント情報学 …… 10-9- [　]
細粒度気象センサネットワーク構築の実際…… 10-10-[　]
モバイル WiMAX の最新動向…… 10-11-[　]
生命情報学…… 10-12-[　]
"I" 見聞録：Twitter 研究会 …… 10-13-[　]
"I" 見聞録：The 15th International Conference on Database Systems for Advanced Applications (DASFAA2010)…… 10-14-[　]
書評：計算力学シミュレーションハンドブック…… 10-15-[　]

〔11〕本号で最も良かった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．
〔11-1〕良かった記事 …… 11-1- [　]
〔11-2〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 11-2- [　]
a) 技術・研究動向がよく分かった　b）知的興味をかきたてられた　c) 新たな知識を得ることができた　d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．
〔12-1〕良くなかった記事 …… 12-1- [　]
〔12-2〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 12-2- [　]
a) 記事の内容に誤りがあった　b) ありきたりの内容だった　c) 記事が難しすぎた　d) 何を言いたいのか分からなかった　e）宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味が持てなかった　g）その他（下記に具体的にご記入ください）

〔13〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください．

〔14〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください．
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

本特集「新しい○○情報学」は，最近，情報学を核とした新研究科や学会設立の流れを見て企画されたものです．もしかしたら，最近情報系の学長や副学長が多いということも，大学の中で情報系が核となっているということを象徴しているのかもしれません．そういう意味で本会として力を入れるべきテーマで，重要な特集だという認識で進めさせていただきました．しかし，いざ企画を進めてみると，まず執筆者の選定で困難が待ち構えていました．従来のようによく知っているコミュニティをベースとするものではなく，○○情報学をリストアップして，コンタクト先を見つけてお願いするまでに一苦労．新しい分野を切り開こうとしている人たちばかりだったのでみなさん大変お忙しく，内容や締切に関していろいろな条件付きで執筆をお受けいただくまでにもう一苦労．次に実際に原稿が集まってくると，今度は内容やトーンが思った以上にばらばらで，統制を取るのにまた一苦労．もともと何を書いていただくかということについてはある程度考えてはいたのですが，予想以上に内容が違っていました．もちろん特集タイトルについても「○○」を入れるかどうか，「○○」か「××」かで議論がありました．ひょっとしたらこういうことはこの分野の新研究科設立や学会設立にも共通する部分があるかもしれません．いろいろな分野のいろいろな目的を持った人たちとの新たなコラボには苦労が付き物です．ぜひ情報学が核となって，関係者の皆さんがこれからもさまざまな分野を引っ張っていっていければと改めて思いました．最後にたいへんお忙しい中こちらからのさまざまな要望を聞いていただいてご執筆いただいた執筆者の皆様に改めてお礼を申し上げる次第です．どうもありがとうございました．

（塚本昌彦・松原　仁／本特集エディタ）

次号（7 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」実世界インタフェースの新たな展開

実世界インタフェースの新たな展開／家庭のユビキタスコンピューティング／ウェアラブルインタフェース／テーブルトップインタフェース／身体性にもとづく実世界ユーザインタフェース／集合知センシングによる実世界インタフェース／日常生活のインタラクションデザイン―実世界インタフェースの展開と今後／アーキテクチャとインタラクションデザイン／エンタテインメントコンテンツと実世界インタフェース／体験メディア：グループ活動の文脈に埋め込まれた実世界メディア／ソーシャルメディアと実世界

「小特集」未来を切り拓く最先端 VLSI テクノロジー

メディア処理における超低消費電力化技術／ソフトウェアとハードウェアの協調による組込みシステムの消費エネルギー最適化／ Power Wall 問題へのブレークスルーを目指して～リーク電力削減への試み～／高性能・超低電力短距離ワイヤレス可動情報システムの創出

解　説：OpenFlow の最新動向…… 西原基夫　他

報　告：平成 21 年度論文賞の受賞論文紹介／平成 21 年度長尾真記念特別賞紹介／平成 21 年度喜安記念業績賞紹介

連　載：古機巡礼 / 二進伝心／研究会推薦博士論文速報／記述の科学

コラム：“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので，本誌に掲載された著作物を複写したい方は，同協会より許諾を受けて複写してください．ただし，（社）日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）．
権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒 107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
E-mail : info@jaacc.jp　Tel (03)3475-5618　Fax (03)3475-5619
なお，著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は，学術著作権協会では扱っていませんので，本会へご連絡ください．

また，アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は，次の団体に連絡してください．
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923　USA
Phone : 1-978-750-8400　Fax : 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.
<All users except those in USA>
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052　Japan
E-mail : info@jaacc.jp
Phone : 81-3-3475-5618　Fax : 81-3-3475-5619
<Users in USA>
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923　USA
Phone : 1-978-750-8400　Fax : 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円（税抜 330,000 円）	—	—
表 3	288,750 円（税抜 275,000 円）	—	—
表 4	404,250 円（税抜 385,000 円）	—	—
表 2 対向	315,000 円（税抜 300,000 円）	—	—
表 3 対向	278,250 円（税抜 265,000 円）	199,500 円（税抜 190,000 円）	162,750 円（税抜 155,000 円）
前付 1 頁	262,500 円（税抜 250,000 円）	173,250 円（税抜 165,000 円）	141,750 円（税抜 135,000 円）
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円（税抜 80,000 円）
前付最終	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
目次前	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
差込（A 判 70.5kg 未満　1 枚）	288,750 円（税抜 275,000 円）		
差込（A 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	367,500 円（税抜 350,000 円）		
同封（A 判　1 枚）	367,500 円（税抜 350,000 円）		

■「情報処理」

発　　行　社団法人 情報処理学会
発行部数　25,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　完全版下データ
原稿寸法　1 頁　天地 260mm× 左右 180mm
　　1/2 頁　天地 125mm× 左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
アドコム・メディア（株）（Tel/Fax/E-mail は下に記載）

＊原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
＊同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，ご希望の会社名にチェック☑を入れ，送付希望先をご記入の上，**Fax** にて（または **E-mail** にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください.

■「情報処理」 **51** 巻 **6** 号　掲載広告（五十音順）

□ JCC ギミック …… 前付最終上
□インタフェース…… 表 2
□オーム社…… 表 2 対向
□サイエンス社…… 目次前
□フォーラムエイト…… 表 4

□ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お 名 前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤 務 先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所 在 地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 アドコム・メディア（株）

Tel.03-3367-0571　Fax.03-3368-1519　E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします.
Web サイト（http://www.ipsj.or.jp）「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので，ぜひご覧ください.

照会先　（社）情報処理学会　会員サービス部門　E-mail:mem@ipsj.or.jp　Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員（20 ～ 50口）

（株）日立製作所
富士通（株）
日本電気（株）
三菱電機（株）
（株）東芝
日本アイ・ビー・エム（株）

●●● 賛助会員（10 ～ 19口）

（株）NTT データ
グーグル（株）
（株）NTT ドコモ
日本電信電話（株）
マイクロソフト（株）

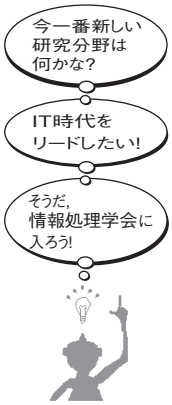
●●● 賛助会員（3 ～ 9口）

NTT コムウェア（株）
沖電気工業（株）
楽天（株）
（株）Fusic
（株）アイロベックス
（株）インフォジャム
（株）うえじま企画
ソニー（株）
（株）ニューズウォッチ
パナソニック（株）

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは http://www.ipsj.or.jp/ をご覧ください

会員募集中!!



申込／照会先　社団法人　情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail:mem@ipsj.or.jp